

2021 年度 立命館学校教育研究会

総会 次第

確認期間：2021 年 6 月 3 日（木）～2021 年 6 月 17 日（木）

確認方法：立命館学校教育研究会 HP

1. 議事

(1) 2021 年度立命館学校教育研究会運営委員について

(2) 2020 年度事業報告

(3) 2021 年度事業計画

2. 立命館大学教職課程近況報告

3. 2021 年度教員採用試験結果報告

以上

2021 年度 立命館学校教育研究会運営委員体制について（案）

標記の件、運営委員の交代や学内役職者の変更に伴い、以下の通り、2021 年度の運営委員体制を提案する。なお、運営委員の任期は 2 年であり、再任は妨げない。

顧問	崎野 隆	元 立命館学校教育研究会 会長
会長	上山 義宏	京都市教育委員会事務局総務部教職員人事課 参与 (京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授兼務)
副会長	井上 政嗣	雲雀丘学園小学校 教諭
副会長	<u>石井 大記</u> **	京都市教育委員会指導部 学校指導課首席指導主事
運営委員	青木 志帆	大津市立瀬田南小学校 教諭
運営委員	<u>石田 星子</u> **	京都聖母学院中学・高等学校 常勤講師
運営委員	大前 吉史	兵庫県立長田高等学校 主幹教諭
運営委員	平岡 信之	京都教育大学附属桃山小学校 教諭
運営委員	穂垣 利浩	生駒市立生駒中学校 教諭
運営委員	溝淵 誠太郎	箕面市立萱野小学校 教諭
運営委員	宮前 顕子	堺市立大浜中学校 教諭
運営委員	山本 衛	京都府立向陽高等学校 教諭
運営委員	<u>右谷 浩</u> **	学校法人立命館附属校教育研究・研修センター研究部 門長
運営委員	森田 真樹	立命館大学大学院教職研究科 研究科長
運営委員	<u>角田 将士</u> **	立命館大学教職教育センター センター長
運営委員	四方 利明	<u>立命館大学教職教育センター 副センター長</u>
運営委員	<u>中西 仁</u> **	<u>立命館大学初等教職課程運営委員会 委員長</u>
運営委員	<u>山田 定宏</u> **	立命館大学教職支援センター 主任（衣笠）
運営委員	<u>大内 維人</u> **	立命館大学教職支援センター 主任（BKC）
事務局長	井上 雅彦	立命館大学大学院教職研究科 副研究科長

※ 下線…2020 年度からの変更点

※ **…新任

2020 年度 立命館学校教育研究会 事業報告

(1) 春季大会

コロナ禍により開催を見合わせた。

(2) 若手教員懇談会

コロナ禍により開催を見合わせた。

(3) 総会・秋季大会

12 月 13 日 (日) Zoom によるオンラインで、総会・秋季大会が開催された。総会については、例年 6 月に実施しているが、2020 年度については、コロナ禍のため、秋季大会に合わせて総会を開催することとなった。秋季大会では、Web を活用した教育実践を通して「With コロナ時代」の新たな学びを構築する方途を探るべく、大阪教育大学講師の尾崎拓郎氏に「クラウドサービスを活用した授業デザイン～オンラインでもつながり続けるために～」と題してご講演いただいた。GIGA スクール構想から、「オンライン授業」の定義、授業デザインの在り方、具体的なツールの活用方法まで、幅広い内容の講演であった。

大会後半は、「オンライン教育の可能性を探る～科学教育・国際教育の新しい挑戦～」と題し、立命館中学校・高等学校教諭、武田奈々子氏および廣松光一郎氏に実践報告をいただいた。立命館中学・高等学校で 2020 年度オンラインによって取り組まれた「JAPAN SUPER SCIENCE FAIR」、そしてその事前準備として取り組んだ「ICT ブートキャンプ」を中心に報告がなされた。講演会と実践報告終了後、Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて、講演者と実践報告者を交えた懇談会を行い、活発な質疑応答、意見交換がなされた。

(4) 総括

2020 年度の秋季大会では、タイムリーかつ学校現場を取り巻く関心の高いテーマを扱うことができ、アンケートでも「大変参考になった」、「気づき、ヒントをいただいた」、「とても刺激を受けた」といった高い評価をいただいた。次年度以降もその時々に応じた、関心を集めているテーマでの開催を検討していきたい。

また、総会においては、立命館大学の近況および 2020 年度教員採用試験の結果が報告された。

以上

2021 年度 立命館学校教育研究会 事業計画

(1) 2021 年度活動方針

- ① 現職教員をはじめとして、教職志望学生や本学教職員等、教育に関わろうとする者の交流、ネットワーク形成のための取り組みを推進する。具体的には、秋季の大会や講演会、教員同士の懇談会等を設定し、幅広い年代、地域、職種の教育関係者が教育実践交流や研究活動を行うための機会を提供する。
- ② 教職を志す本学学生・院生の力量向上に資する取り組みを行う。大会や講演会の開催にあたっては、学生にも広く広報して参加を促す。また、教職支援センターが主催する各種企画についても、教職を志す学生・院生の進路実現のための必要な支援を行う。
- ③ ホームページ等を通じて、本研究会の取り組みについて、会員に加えて、社会にも広く情報発信を行う。

(2) 2021 年度 年間活動スケジュール (案)

時期	活動内容
5 月	第 1 回運営委員会 ・ 2021 年度 学校教育研究会運営体制について ・ 2020 年度立命館学校教育研究会事業報告ならびに 2021 年度立命館学校教育研究会事業計画について ・ 2021 年度立命館学校教育研究会総会（書面審議）について ・ 2021 年度立命館学校教育研究会秋季大会について ・ 2021 年度若手教員の会活動内容について
6 月	第 2 回運営委員会 ・ 2021 年度 秋季大会企画について（案） 2021 年度 立命館学校教育研究会 総会（書面審議）
11 月 ～12 月	第 3 回運営委員会 ・ 2021 年度 秋季大会の進行について（確認） ・ 2022 年度立命館学校教育研究会総会・春季大会について 2021 年度 立命館学校教育研究会 秋季大会

上表に加え、必要に応じて運営委員会（メール会議）または会長・副会長・事務局長による運営委員会幹事会を開催する。

以上

立命館大学教職課程近況報告

立命館大学では、総合大学に相応しく、多くの学部で、各学部での専門的な学びを基盤にしながら、多彩な教員免許状を取得することが可能になっている。その中で、単なる資格課程として教員免許状の取得だけをめざすのではなく、教員採用試験への合格やその後も学び続けることで質の高い教育実践を行うことができる力量豊かな教師を一人でも多く送り出せるように、特に中等教職課程においては、2010年度以降、2回生と3回生との間での履修継続に一定のハードルを課すなど、教職本気層の絞り込みを志向してきた。また、近年の教職課程認定の厳格化の動きを受け、OICの学部では2019年度以降、教職課程を取り下げる判断を行ったことや、ここ数年は一般企業への就職状況も好調であった。こうした背景の下、大学全体としては教職課程履修者の数は減少傾向にあった。

そのような中2020年度は、コロナ禍の影響を受けて、春学期はすべての授業がオンライン対応、秋学期も一部科目では対面授業を実施しつつもオンライン対応を継続せざるを得ないという状況にあった。加えて、教職課程に関わるガイダンス等も従前のような形では実施することができなかったという状況にありながらも、教職課程履修者の数は増加に転じた。これは、コロナ禍における経済情勢を受けた安定志向が反映された一時的な傾向であるとも考えられるが、全ての履修者に対して、教職課程での学びを通じて、教職に対する深い理解や高い使命感を醸成できるよう、鋭意努力を続けていきたい。

2021 年度教員採用試験結果報告

2020 年度は、コロナ禍の影響を受けて、教員採用試験合格に向けた支援を従前のように行うことができなかった。そのような不利な状況であったにもかかわらず、例年と大差なく、約 300 名弱の合格者を輩出することができた。特に、小学校での合格者は例年通りの数を維持し、中学校での合格者は増加するなど、義務教育段階で特に健闘している。また、採用状況が依然として厳しい高等学校についても一定数の合格者を輩出している。こうした成果は、コロナ禍という困難にも負けずに一途に取り組んだ学生諸氏の奮闘や関係教職員の献身的な支援の賜物であり、「教師になりたい」という夢を現実のものにできる大学として、立命館大学の社会的価値を高めている。